

責任の重さしっかり受け止め

た みや おさむ
田宮 修 新町長に聞く



3月22日、無投票で当選を果たした前副町長の田宮修氏（十王在住）が、新たな白鷹町長に就任されました。町や地域が抱える課題にどう向き合われるのか新町長としての意気込みを伺います。

☆今一番伝えたい思い

急な事態となり、町政を停滞させないでほしいという思いが町の方々から伝わっております。責任の重さを感じながら、しっかりと受け止めて町政運営にあたります。

町民の声をしっかりと町づくりに生かしてほしいという期待は、私へもあると思いますので、早めに座談会を開き、皆様の声を聞く場を設けたいと思っています。

☆地域の高齢化、人材不足

道路、水路の維持管理など、行政でやるべきところは、進めていく必要がありますが、どこまでやれるかは議論していかなければならないと思っています。地域の役職の成り手不足も大きな課題です。本当に必要な職務かどうか、検証が必要になってくると思います。地域それぞれに歴史もあるので、ご相談があれば町としてどのように支援できるか考えていきたいと思っています。

☆是々非々に基づく議会との関係

町民の声を、議会の方からもたくさん吸い上げていただきたいと思っています。鋭く厳しいご指摘なども率直に頂きながら、それに答弁できるよう我々の考えもまとめていきたいと思っています。

良好な関係でありつつも、互いに緊張感を保てるような関係でありたいと思っています。

☆パレス松風、道の駅ヤナ公園の方向性

ふるさと森林公園再整備は、膨らむ事業費について町の方々からもさまざまなご意見をいただいています。町としてできるのはどこまでかをもう一度しっかりと検証すべきで、議会特別委員会での議論も踏まえ方向性を定めたいと考えています。

道の駅ヤナ公園は現在、機能が弱まっています。指定管理者と意見を交わし、活用の仕方を考えていきたいと思っています。

☆統廃合を含む今後の小学校のあり方

学校によっては、2年後には複式学級が想定される段階まで来ています。早急に議論の場を設け、教育委員会と地域が一緒になって学校のあり方について考えていただきたいと思っています。

その上で、子どもたちにとって本当に望ましい教育環境とはどういうものなのかが示された段階で、方針を判断していければと考えています。

【プロフィール】

- ◆昭和42年 荒砥仲町生まれ、十王在住、59歳
- ◆県立荒砥高等学校、日本体育大学体育学部 卒業
- ◆白鷹町役場 企画室長、税務出納課長、教育次長を歴任
- ◆前白鷹町副町長